

教育旅行魅力発信強化事業(モニターツアー実施・SDGsプログラム磨き上げ)委託仕様書

1 業務名

この業務は「教育旅行魅力発信強化事業(モニターツアー実施・SDGsプログラム造成)」(以下「本事業」という。)とする。

2 目的

本事業は、震災以降低調な回復状況となっている本県の教育旅行再生に向け、モニターツアーを実施し、本県の地域の強みを活かした教育旅行プログラムを検証するとともに、SDGsプログラムを磨き上げ、県内外へ広く発信することにより、本県への教育旅行誘致に資することを目的とする。

3 業務内容

(1) モニターツアーの実施

県内外の学校が本県で教育旅行を実施するため実現可能性のある6コースを企画立案し、実施すること。なお、モニターツアーは、以下の要件を満たすものであること。

ア 只見線沿線地域のプログラムを中心としたコース(首都圏エリア)

ターゲット：首都圏エリアの中学校又は高等学校の希望制研修旅行(80名程度の規模校を想定)

(ア) 行程に組み込むべき事項

- ・別紙(1)から只見線沿線地域のプログラムを1つ以上組み込むこと。
- ・別紙(2)からSDGs探究プログラムを2つ以上組み込むこと。
- ・ホープ総合ガイドブック又はホームページ掲載の復興に果敢に挑戦する人々との対話を組み込むこと。
- ・行程のバランスを考慮した上で、歴史学習をはじめ、環境学習、自然学習を組み込むこと。なお、実際の行程は、公益財団法人福島県観光物産交流協会(以下「協会」という。)と協議の上決定する。

(イ) 募集対象

埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県管内にある中学校又は高等学校教員等

(ウ) 開催時期

令和6年8月中旬頃

(エ) 日数

2泊3日

(オ) 募集人数

10名以上

(カ) 交通手段

東京駅又は大宮駅経由東北新幹線利用、県内バス移動

(キ) 訪問エリア

中通り、会津を訪問エリアに組み込むこと。なお、行程は福島県内で完結すること。

(ク) 行程に組み込む宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

(ケ) 催行数

1本

イ SDGs 探究プログラム・ホープツーリズムを中心としたコース（東海エリア）

ターゲット：東海エリアの高等学校の修学旅行（200名程度の規模校を想定）

(ア) 行程に組み込むべき事項

- ・複合災害（地震・津波・原子力災害・風評被害）を経験した本県ならではの新しいスタディーツアーであるホープツーリズム（以下「ホープツーリズム」という。）を組み込むこと。
- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを同行させること。また、必要に応じて被災地域のコンテンツを組み込むこと。
- ・ホープツーリズム実施後にフィールドパートナーと振り返りの時間を設けること。
- ・ホープ総合ガイドブック又はホームページ掲載の復興に果敢に挑戦する人々との対話を組み込むこと。
- ・別紙（2）からSDGs 探究プログラムを2つ以上組み込むこと。
- ・行程のバランスを考慮した上で、歴史学習をはじめ、環境学習、異文化体験等を組み込むこと。なお、実際の行程は協会と協議の上決定する。

(イ) 募集対象

岐阜県・愛知県・三重県管内にある高等学校教員等

(ウ) 開催時期

令和6年8月中旬頃

(エ) 日数

2泊3日

(オ) 募集人数

10名以上

(カ) 交通手段

参加者が希望する東海道新幹線停車駅から品川駅又は東京駅経由特急又は東北新幹線利用、県内バス移動

(キ) 訪問エリア

震災・原子力災害の被災地域かつ浜通り、必要に応じて中通り、会津を訪問エリアに組み込むこと。なお、行程は福島県内で完結すること。

(ク) 行程に組み込む宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

(ケ) 催行数

1本

ウ SDGs探究プログラム・ホープツーリズムを中心としたコース（関西エリア）

ターゲット：関西エリアの高等学校の修学旅行（200名程度の規模校を想定）

(ア) 行程に組み込むべき事項

- ・初日に、ホープツーリズムを組み込むこと。
- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを同行させること。また、必要に応じて被災地域のコンテンツを組み込むこと。
- ・ホープツーリズム実施後にフィールドパートナーと振り返りの時間を設けること。
- ・ホープ総合ガイドブック又はホームページ掲載の復興に果敢に挑戦する人々との対話を組み込むこと。
- ・別紙（2）からSDGs探究プログラムを2つ以上組み込むこと。
- ・行程のバランスを考慮した上で、歴史学習をはじめ、環境学習、異文化体験等を組み込むこと。なお、実際の行程は協会と協議の上決定する。

(イ) 募集対象

滋賀県・京都府・大阪府管内にある高等学校教員等

(ウ) 開催時期

令和6年11月中旬頃

(エ) 日数

2泊3日

(オ) 募集人数

15名以上

(カ) 交通手段

参加者が希望する東海道新幹線停車駅から品川駅又は東京駅経由特急又は東北新幹線利用、県内バス移動

(キ) 訪問エリア

震災・原子力災害の被災地域かつ浜通り、必要に応じて中通り、会津を訪問エリアに組み込むこと。なお、行程は福島県内で完結すること。

(ク) 行程に組み込む宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

(ケ) 催行数

1本

エ SDG s 探究プログラム・スキー学習・ホープツーリズムを中心としたコース(九州エリア)

ターゲット：雪のない地域にあり、スキーの経験の少ない九州エリアの高等学校の修学旅行（200名程度の規模校を想定）

(ア) 行程に組み込むべき事項

- ・ホープツーリズムを組み込むこと。
- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを同行させること。
- ・ホープ総合ガイドブック又はホームページ掲載の復興に果敢に挑戦する人々との対話を組み込むこと。
- ・ホープツーリズム実施後にフィールドパートナーと振り返りの時間を設けること。
- ・別紙（2）からSDG s 探究プログラムを2つ以上組み込むこと。
- ・スキー初心者を対象とするため、インストラクター（2名程度）を付けてスキー体験を行うこと。
- ・行程のバランスを考慮した上で、歴史学習をはじめ、環境学習、自然学習等を組み込むこと。なお、実際の行程は協会と協議の上決定する。

(イ) 募集対象

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県管内にある高等学校教員等

(ウ) 開催時期

令和6年12月下旬頃

(エ) 日数

2泊3日

(オ) 募集人数

15名以上

(カ) 交通手段

参加者が希望する空港発着で羽田空港経由、品川駅又は東京駅発着特急又は東北新刊幹線利用、県内バス移動

(キ) 訪問エリア

震災・原子力災害の被災地域かつ浜通り、必要に応じて中通り、会津を訪問エリアに組み込むこと。なお、行程は福島県内で完結すること。

(ク) 行程に組み込む宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

(ケ) 催行数

1本

オ SDGs 探究プログラム・ホープツーリズム・雪のアクティビティを中心としたコース（沖縄エリア）

ターゲット：沖縄県の高等学校の修学旅行（200名程度の規模校を想定）

（ア）行程に組み込むべき事項

- ・ホープツーリズムを組み込むこと。
- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを同行させること。
- ・ホープ総合ガイドブック又はホームページ掲載の復興に果敢に挑戦する人々との対話を組み込むこと。
- ・別紙（2）からSDGs 探究プログラムを1つ以上組み込むこと。
- ・農家民泊・農業体験を受け入れている事業者が農業の魅力を参加者へ発表する説明会を1回組み込むこと。
- ・雪のアクティビティ（スキー又は雪国体験等）を組み込むこと。
- ・行程のバランスを考慮した行程とすること。なお、実際の行程は協会と協議の上決定する。

（イ）募集対象

沖縄県管内にある高等学校教員等

（ウ）開催時期

令和6年12月下旬頃

（エ）日数

2泊3日

（オ）募集人数

15名以上

（カ）交通手段

那覇空港発着で羽田空港経由、品川駅又は東京駅発着特急又は東北新幹線利用、県内バス移動 ※離島からの参加者は、各空港から那覇空港経由、品川駅又は東京駅発着特急又は東北新幹線利用、県内バス移動。なお、当日移動では間に合わない場合又は当日移動では帰着できない場合は、前泊・後泊に係る経費も事業費負担とする。

（キ）訪問エリア

震災・原子力災害の被災地域かつ浜通り、必要に応じて中通り、会津を訪問エリアに組み込むこと。なお、行程は福島県内で完結すること。

（ク）行程に組み込む宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

（ケ）催行数

1本

カ SDG s 探究プログラムを中心としたコース（福島県内）

ターゲット：県内の中学校又は高等学校の生徒

（ア）行程に組み込むべき事項

別紙（２）からSDG s 探究プログラムを２つ以上組み込むこと。なお、実際の行程は協会と協議の上決定する。

（イ）募集対象

県内の中学校又は高等学校のSDG s を学んでいる生徒等

（ウ）開催時期

令和６年８月～令和７年１月（学校と調整の上決定すること）

（エ）日数

日帰り

（オ）募集人数

１クラス程度（２０～３０名程度）

（カ）交通手段

県内バス移動

（キ）訪問エリア

特に定めない。行程は福島県内で完結すること。

（ク）催行数

１本

（２）モニターツアー実施に係る業務について

ア モニターツアーの広報・告知及び参加者の募集

（ア）上記「（１）ア～オ」の各コースについては、募集チラシを作成し、５コースのツアー参加人数の合計が６５名以上となるよう幅広く募集すること。チラシのデザインについては受託者が行い、ツアーの魅力が伝わるよう写真等を効果的に使用すること。なお、募集方法については、受託者が持つネットワークを活用するとともに、対象エリアの学校へチラシを郵送すること。募集方法については、必要に応じて公益財団法人福島県観光物産交流協会（以下「協会」という。）と協議の上決めること。また、参加者には事前に取材や撮影が入る可能性があることを伝え、了承を得ておくこと。

（イ）上記「（１）カ」のコースについては、協会と協議の上学校を選定し、１クラス程度募集すること。

（ウ）モニターツアー参加者へWebアンケート（Googleフォーム等）を作成し実施すること。なお、アンケートの調査項目については協会と協議の上決定すること。

（エ）上記（ウ）のアンケートの内容を集計、評価や意見を集約の上、本県における探究プログラムについての課題や改善点を抽出し報告書にまとめること。

イ 手配・催行管理業務

上記「(1) ア～カ」のモニターツアー（以下「6コースのツアー」という。）については、訪問施設、ガイド、宿泊施設、貸切バス、昼食会場（弁当の場合あり）、夕食会場及び会議室等に係る全行程の手配を行うこと。モニターツアー参加者へJR券等及び最終行程表の送付を行うこと。また、参加受付先は受託者とし、参加者名等の情報を集計し、協会へ提出すること。モニターツアーを実施する業者は第1種旅行業者又は第2種旅行業者の登録を有すること。

ウ 添乗業務

協会と協議の上決定した6コースのツアーについて、ツアー毎に添乗員1名が全行程同行し旅程管理を行うこと。また、ツアー中は実績報告書用の記録写真の撮影を行うこと。

(3) SDGs探究プログラムの磨き上げ等

ア SDGsの専門家等の選定

県内の教育旅行関係者により、今年度新たに造成される4件のSDGs探究プログラムに対し、適切なアドバイスができる専門家等を1名選定すること。

イ 新規プログラムに対するアドバイス

教育旅行関係者が作成したSDGs探究プログラムシート4件の記載内容が教育旅行及び探究学習に適しているか専門家等とともに確認し、アドバイスを行うこと。

ウ 既存プログラムの磨き上げ

モニターツアーに組み入れたプログラムについては、アンケート結果を事業者へフィードバックし、磨き上げを行うこと。

4 実績報告書の作成

上記「3(1)～(3)」について取りまとめた実績報告書を作成し、委託期間内に提出すること。

※各事業の実施状況について、月報として報告を行う（任意様式）こととし、前月分の実績を翌月5日までに報告すること。

5 成果品

- (1) 実績報告書（任意様式）1部

6 提出書類

受託者は、委託契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を協会の指定する日までに提出しなければならない。

- (1) 契約締結後に速やかに提出するもの

- ア 委託業務着手届（様式第1号）

- イ 業務実施体制図（任意様式）
 - ウ 実施計画書（任意様式）
 - エ その他、協会が業務の確認に必要と認める書類
- (2) 業務完了後に速やかに提出するもの
- ア 委託業務完了届（様式第2号）
 - イ 上記「5 成果品」に記載のもの一式
 - ウ その他、協会が業務の確認に必要と認める書類（任意様式）

7 契約に関する条件

- (1) 成果品一式の著作権及び所有権は、正当な手続きにより使用又は借用した第三者のものを除き、協会に帰属するものとする。
- (2) 受託者は、本業務の全部を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。業務の一部を第三者に委託する場合は、事前に協会と協議して了承を得ること。

8 その他留意事項

- (1) 受託者は、本業務の遂行に当たり、十分な能力を持つ要員を従事させること。
- (2) 業務の遂行に必要な費用は、全て委託料に含めることとし、受託者が負担すること。
- (3) 受託者は、仕様書の解釈について疑義が生じたとき、あるいは仕様書に規定し事項で必要のある場合は、協会と速やかに協議の上、その指示に従うこと。
- (4) 受託者は、本業務に係る本県の検査が実施される場合には、協会に協力しなければならない。
- (5) 受託者は、業務期間はもとより期間終了後も、当該業務で知り得た機密、個人情報等の取扱いについて厳守すること。
- (6) モニターツアーの予定催行人員を下回った場合や内容等の変更が生じた場合には、契約金額の変更として対応する場合がある。
- (7) モニターツアー中の事故へ対応するための国内旅行傷害保険への加入等、万全な安全対策を講じること。また、事故や自然災害などの緊急事態が発生した場合に備えた危機管理体制、対応方法等を策定すること。

様式第1号

委託業務着手届

令和 年 月 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会 理事長 様

受託者 住 所
名 称
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日付で
着手しましたので届け出ます。

記

- 1 業 務 名 教育旅行魅力発信強化事業（モニターツアー実施・SDGsプログラム
ム磨き上げ）
- 2 着 手 日 令和 年 月 日

様式第2号

委託業務完了届

令和 年 月 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会 理事長 様

受託者 住 所
名 称
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日完了
しましたので、報告します。

記

1 業 務 名 教育旅行魅力発信強化事業（モニターツアー実施・SDGsプログラム
ム磨き上げ）

2 完 了 日 令和 年 月 日

教育旅行魅力発信強化事業（モニターツアー実施・SDGsプログラム磨き上げ）

(1) 只見沿線地域のプログラム

プログラム名	内容
JR 只見線から考える災害復興と奥会津の暮らし	https://www.tif.ne.jp/kyoiku/program/dispatch.html?id=691
只見ユネスコパークで豪雪地帯の自然環境を学ぶ	https://www.tif.ne.jp/kyoiku/program/dispatch.html?id=692
地域をつなげる移住・U ターン者の移住のあれこれを学ぶ	https://www.tif.ne.jp/kyoiku/program/dispatch.html?id=693

(2) SDGs 探究プログラム

番号	市町村	プログラム名	事業者名
1	北塩原村	ロハス食育環境プログラム	メルキール裏磐梯リゾート&スパ
2	北塩原村	裏磐梯に学ぶ景観保持（環境保全型プログラム）	メルキール裏磐梯リゾート&スパ
3	北塩原村	グランデコ裏磐梯自然塾～五感を使って地球環境問題を学ぼう～	EN RESORT Grandeco
4	北塩原村・猪苗代町	磐梯山を通して火山のすばらしさと恐ろしさを理解	磐梯山噴火記念館
5	北塩原村	磐梯山噴火から学ぶ森と歴史そして防災	休暇村裏磐梯
6	猪苗代町	持続可能な視点で見る、国指定重要文化財「天鏡閣」の見学	天鏡閣
7	猪苗代町	猪苗代湖の水環境保全体験プログラム	株式会社いなびし
8	会津若松市	Lotusが考える 心を育む癒しの木のものづくり体験	NPO法人Lotus
9	会津若松市	誰一人取り残さない Lotusが考える子育て支援を体感しよう！	NPO法人Lotus
10	会津若松市	ビーウォッチング（ミツバチ生態観察or蜂場体験）	有限会社松本養蜂総本場
11	南会津町	尾瀬国立公園ハイキングで学ぶ～自然環境保護と持続可能な観光～	会津アストリアホテル
12	南会津町	地域資源を再生可能エネルギーへ～南会津町の取り組み～	会津アストリアホテル
13	福島市	再生可能エネルギー（地熱発電所）見学ツアー	土湯温泉観光協会
14	福島市	レジリエントな地域づくり	土湯温泉観光協会
15	福島市	もったいない桃のシンデレラストーリー	株式会社ももがある
16	福島市	福島お膳で福島の持続可能な農と食を体験する	摺上亭大鳥
17	福島市	日本酒アドバイザーと考える持続可能な日本酒文化	摺上亭大鳥
18	伊達市	獣害被害を資源に活用 猪革ワークショップ体験	（一社）伊達市農林業振興公社
19	伊達市	名峰 霊山wakuwakuハイキング	りょうぜんこどもの村
20	伊達市	フードロスをなくそう！～いちごサイダー誕生物語～	道の駅伊達の郷りょうぜん
21	二本松市	千年伝統【上川崎和紙】手漉き和紙体験プログラム（現地体験・出張体験）	二本松市和紙伝承館
22	大玉村	森林環境教育プログラム	フォレストパークあだたら
23	大玉村	災害対応キャンププログラム	フォレストパークあだたら
24	三春町	触れる地球～SDGsの概要、地球規模の問題を学ぶ～	コミュニティ福島
25	三春町	SDGsを理解し、「自分ごと化」しよう！～誰ひとり取り残さない世界を目指して～ 基礎編	コミュニティ福島
26	三春町	「未来を創る」コミュニティ福島で学ぶSDGs 発展編	コミュニティ福島
27	田村市	星の村天文台で 見つめる・考える・残していく 未来の星空	田村市星の村天文台
28	田村市	あぶくま洞の神秘と地域資源を活かした産業保全について学ぶ	あぶくま洞
29	田村市	クラフトビール工場見学循環コンテンツ体験	株式会社ホップジャパン
30	須賀川市	新しい段ボール箱の魅力発見！製造過程の工場見学	神田産業株式会社
31	天栄村	道の駅でSDGs！～食べて学ぶサステナブルな考え方～	株式会社天栄村振興公社
32	天栄村	天栄村で学ぼう！SDGs～みんなが幸せを感じ笑顔あふれる世界へ～	（一社）天栄村ふるさと夢学校
33	天栄村	身近なことからはじめてみよう！～間伐材を活用したマイ箸づくり～	（一社）天栄村ふるさと夢学校
34	天栄村	天栄村で学ぼう！SDGs～農業体験・農村宿泊～	（一社）天栄村ふるさと夢学校
35	相馬市	資源管理と栽培漁業から学ぶ水産資源の持続的利用	福島県水産資源研究所
36	双葉町	一般研修（ガイダンス・施設見学・語り部講話・フィールドワーク・ワークショップ）	東日本大震災・原子力災害伝承館
37	富岡町	見えない不安を数値で確認～環境モニタリング体験～	特定廃棄物埋立情報館リブルンふくしま
38	楡葉町	楡葉町でさつまいもの6次化を学ぼう！ ～季節の農業体験（苗植え・収穫）&日本最大級のおいも貯蔵施設見学～	株式会社福島しろはとファーム
39	いわき市	持続可能な林業へ 間伐材を活用した割り箸・鉛筆作り体験	株式会社磐城高箸
40	いわき市	アクアマリンふくしま館内学習「きれいな海と生き物を守ろう」	アクアマリンふくしま
41	いわき市	アクアマリンふくしま館内学習「命をいたごう（釣り・調理体験）」	アクアマリンふくしま